令和２年度

シラバス

青翔開智中学校

第２学年

もくじ

国語（現代文・古典）・・・・・・・・・・・・・・・　3～4

社会（歴史・地理）・・・・・・・・・・・・・・・・　5～6

数学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

理科（科学）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

英語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

探究基礎Ⅱ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

音楽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

美術・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

保健体育（男子・女子）・・・・・・・・・・・・・　13～14

技術・家庭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15～16

道徳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

年間学習計画のうち、「探究」欄に○が記載されている単元は、探究スキルラーニングの時間を設けている単元です。探究スキルラーニングは、総合的な学習の時間「探究基礎」と普通教科をつなぐ本校オリジナルの取り組みです。各取り組みで目標にしている探究スキルは、「タグ」欄に番号で示しています。探究スキルの詳細は、学校にお問い合わせください。

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	現代文	3	中学2年	必修

科目の目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。
学習内容の概要	話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの能力を育成するための事項について指導する。なお、授業冒頭には漢字の小テストをそれぞれ週1回程度実施する。

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重しようとしているか。	目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめよう	目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身に付けるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとしているか。	目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとしているか。	伝統的な言語文化にふれ、言葉の特徴やきまりや漢字などについて理解するとともに、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して使用しているか。

評価の方法	提出物・成果物・授業態度等	40%	単元テスト	60%

教科書・教材等	現代の国語1（三省堂）、現代の国語完全準拠ワークブック1（三省堂）論理エンジンOS3（旺文社）、新明解国語辞典（三省堂）、プリント、視聴覚教材
授業形態	クラス別

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1学期	4	「名づけられた葉」	読む（韻文）	7	9	1	8	16
	5	「小さな手袋」	読む（文学的文章）	6				
		創作文	書く	5				
	単元テスト（5月下旬）							
	6	「人間は他の星に住むことができるのか」	読む（説明的文章）	6				
	単元テスト（6月中旬）							
	7	ビブリオバトル	話す・聞く					
	9	「壁に残された伝言」	読む（説明的文章）	6	8	1	3	8
		主張文	書く	6				
	10	「動物園でできること」	読む（評論的文章）	7				
	単元テスト（10月中旬）							
	11	パネルディスカッション	話す・聞く					
		「走れメロス」	読む（文学的文章）	10				
	単元テスト（11月下旬）							
3学期	1	模試対策		5	8	8	15	
	2	「達人のことば」	読む（説明的文章）	7				
		新書スピーチ	話す・書く					
	3	「ポテト・スープが大好きな猫」	読む（文学的文章）	8				
	単元テスト（3月上旬）							

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	古典	2	中学2年	必修

科目の目標	言葉の特徴やきまり、伝統的な言語文化、書写に関する事項を身につけること。				
学習内容の概要	言葉の特徴やきまりでは、口語文法のうち、ことばの単位と自立語について理解する。伝統的な言語文化では、文語特有の語彙やきまり、訓読の仕方を理解し、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界と触れ合う。また、古典には様々な種類の作品があることを理解する。書写では、楷書と行書の特徴をとらえ、実践する。				
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
	国語で伝え合う力をすすんで高めるとともに、国語に対する認識を深めている。話す・聞く・書くことで思考を広げている。読書を生活に役だててしている。	目的や場面によって、立場や意見の相違をふまえた話し方、意見を比較する聞き方、相手の対場を尊重した話し合いをしている。	目的や意図によって、構成を工夫して、主張が効果的に伝達されるように文章化している。	目的や意図によって、内容や表現の仕方に注意して文章を読み取り、知識や体験と関連づけて自分の意見をもっている。	伝統的な言語文化を楽しみ、言葉の特徴やきまりや漢字などについて理解するとともに、漢字の行書とそれに調和した仮名を使用している。
評価の方法	提出物・成果物・授業態度等	40%	単元テスト	60%	
教科書・教材等	現代の国語2(三省堂)、Iワーク(三省堂)、練成口語文法必修編2・3(青梧社)、ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)、新明解国語辞典(三省堂)、古語辞典(三省堂)、新漢語林(大修館書店)、五色百人一首1分間フラッシュカード				
授業形態	クラス別				

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1学期	4	副詞・連体詞・接続詞・感動詞	言葉の特徴やきまり	15	6	7	15	17
	5	助動詞・助詞						
	6	「短歌の世界」「短歌十首」	読む(韻文)	6				
	7	敬語	言葉の特徴やきまり	3				
		単元テスト ・ 五色百人一首(黄20-12)						
2学期	8	方言と共通語	言葉の特徴やきまり	13				
	9	「平家物語」	伝統的な言語文化					
	10							
		単元テスト ・ 五色百人一首(黄10-1)						
	11	「漢詩の世界」	伝統的な言語文化	13				
	12	熟語の読み	漢字					
		単元テスト ・ 五色百人一首(桃20-12)						
3学期	1	「枕草子」	伝統的な言語文化	15				
	2	「徒然草」	伝統的な言語文化					
	3	単元テスト ・ 五色百人一首(桃10-1)						
		書写	書写					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
社会	歴史	2	中学2年	必修

科目の目標	日本や世界の諸地域を比較し関連づけて考察し、各地域が相互に関係しあっていることを理解する。			
学習内容の概要	基本的には板書中心の座学で授業を進める。板書だけの授業であると単なる暗記になってしまうことも考えられるため図表を投影し、まずは根底に流れる歴史背景を理解させることで知識の浸透を促す。「書く」ことにより理解が阻害されてしまう生徒はiPad利用でのメモも認める。図書館利用学習はテーマ設定の幅を広く設け、生徒同士で共有することで生徒全員が広範な知識を得られるものとする。			
評価の観点	知識の獲得	ロジカルシンキング	ボーダーレス感覚	授業への意欲
	基本的な語句の意味を理解できており、語句の活用ができる。	物事を筋道立てて考える力が養われている。	他者の背景や主張を炊いての立場に立って理解でき、受容する力がある。	通常授業や活動など様々な場面で意欲を継続することができる。
評価の方法	単元テスト 60% 成果物・提出物 30% 意欲・態度 10% %			
教科書・教材等	新しい歴史 東京書籍 中学必修テキスト 中学 社会(歴史) 新編 新しい社会 基礎・基本徹底ワーク(4～7章)			
授業形態	一斉			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ	
1	4	近世の日本	産業の発展と幕府政治の動き	6			
	5	開国と近代日本の歩み	欧米の進出と日本の開国	6			
			明治維新	6			
	6		明治の国力比較	6	○	9	11
		単元テスト	日清・日露戦争と近代産業	4			
	7		全国水平社と差別の歴史	4			
2	8						
	9	二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦と日本	6			
		単元テスト					
	10		世界恐慌と日本の中国侵略	6			
		単元テスト					
	11		第二次世界大戦と日本	6			
		単元テスト					
	12		新聞の効果	6	○	3	5
		単元テスト					
3	1	現代の日本と世界	原爆ドームと平和	4			
		単元テスト	戦後日本の発展と国際社会	4			
	2		新たな時代の日本と世界	5			
		単元テスト	歴史まとめ	3			
	3		偉人戦闘力	6	○	3	8

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
社会	地理	2	中学2年	必修

科目の目標	広い視野に立って、地理的分野に対する関心を高め、諸資料に基づいて多角的・多面的に考察する力を付ける。			
学習内容の概要	2年時には日本の様々な地域や身近な文化について調査し、データや資料にまとめる。また、世界各地の様子を気候や地域・生活や習慣などを通して考察していく。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	知識・理解
	地理的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の特色について認識を養おうとする。	地理的課題を見いだし、地域的特色を環境条件や生活と関連付け多面・多角的に考察し、公正に判断し、過程や結果を適切に表現する。	地図や統計、映像などの資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、活用することができる。	日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付ける。
評価の方法	単元末テスト 60%		成果物・提出物 ・各活動における意欲と態度 40%	
教科書・教材等	新しい社会 地理（東京書籍）、中学社会科地図（帝国書院）			
授業形態	一斉			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	○日本の姿	・日本の姿	12				
		○世界から見た日本の姿	・世界から見た日本の自然環境		○	1	3	12
	5		・世界から見た日本の人口		○	3	10	12
			・世界から見た日本の資源・エネルギーと産業					
	6		・世界と日本の結び付き					
	7	○日本の諸地域 ○身近な地域の調査	・九州地方	8				
2	8		・中国・四国地方	12	○	1	8	14
	9							
	10		・近畿地方	8				
	11		・中部地方	8				
	12		・関東地方	8				
3	1		・東北地方	8				
	2		・北海道地方	8				
	3							

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学	5	中学2年	必修

科目の目標	文字を含んだ計算やともなって変化する数量について学ぶことで、数や数量関係に関する抽象的な概念を身につけ、物事をより一般的に捉える力を習得する。また、図形の性質を通じて定義や公理、定理などの事柄を理解し、論理的に事柄を説明する力を身につける。			
学習内容の概要	「式の計算」では式の展開や因数分解を行い、分配法則を(多項式)×(多項式)まで発展させる。「平方根」では数を無理数まで拡張する。「2次方程式」では平方根や因数分解を用いた方程式の解法を学ぶとともに公式を用いた解法を取り扱う。「関数y=ax2」では2乗に比例する関数について、そのグラフの形状や変化の仕方について学ぶ。「図形と相似」では相似な2つの図形における性質を用いて、「線分の比と計量」では面積比を用いた三角形の性質を用いて、線分の長さや角の大きさを求める。「円」では、円周角の定理や円の接線の性質をもとに角の線分の長さや角の大きさを求める。「三平方の定理」では三平方の定理を用いて線分の長さを求める。			
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	数学的な事象に関心を持つとともに、数学的活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学を活用して考えたり判断したりしようとする。	事象を数学的に捉えて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身につけている。	事象を数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を身に付けている。	数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	テスト 60% 数学的活動 30% 態度（自己評価 含） 10%			
教科書・教材等	数研出版 数学2、人工知能型教材Qubena			
授業形態	一斉			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	確率（中2）		15				
	5	演習（中1～2）		10				
	6	式の計算（中3）	単項式と多項式の乗除や多項式の積について，計算方法を理解する。展開や因数分解を利用し，工夫して計算する。	15				
	7	平方根（中3）	平方根の定義や計算方法を理解し，それらの計算をする。	15				
2	8	2次方程式（中3）	2次方程式とその解の意味を理解する。因数分解や平方根の考えを使って方程式を解く。	20				
	9							
	10	関数y=ax2（中3）	yがxの2乗に比例する関数について，グラフを書いたり変化の様子を説明したりする。	20				
	11	図形の相似（中3）	三角形の相似を証明したり性質を用いて長さを求めたりする。	15	○	8	9	
		円（中3）	円周角の定理を理解して利用する。	10				
	12	三平方の定理（中3）	三平方の定理について理解し，線分の長さや円の弦の長さを求める。	15	○	8	9	
3	1	融合問題演習①	図形の性質を利用して，座標平面上で図形の面積やグラフの式を求めたりする。	20				
	2	融合問題演習2	文字を用いて数の性質を証明したり，図形の性質を説明したりする。	20				
	3	グラフの種類の学習	グラフを比較して特徴を学ぶことで，探究活動に活用できる技術を身につける。	20	○	5	10	11

教科名	科目名	時間数	対象学年	履修形態
理科	科学	4	中学2年	必修

科目の目標	目的意識を持って観察・実験・調査・発表を行い，科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。 自然の事物・現象についての知識・理解を深め，科学的な見方や考え方を養う。							
学習内容の概要	生物分野：動物の生活と生物の進化 地学分野：地球の大気と天気の変化 化学分野：化学変化と原子・分子 物理分野：電流の性質とその利用							
評価の観点	関心・意欲・態度		判断・思考		観察・実験の技能・表現		知識・理解	
	自然科学の事物・現象に関心・探究心をもち，意欲的に解決する態度を身につけようとする。		自然科学の事物・現象に問題を見いだし，事象を科学的に考え，判断できる。		自然科学の事象・現象を科学的に探究する方法を身につけ，過程や結果を的確に表現できる。		自然科学に関する事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，身につけている。	
評価の方法	単元テスト	30%	レポート	30%	成果物	20%	授業態度	20%
教科書・教材等	啓林館『未来へひろがるサイエンス2』							
授業形態	一斉							

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	ガイダンス（生物分野）		4				
		1章　生物の体と細胞	生物と細胞					
	5	2章　生命を維持するはたらき	消化と吸収，呼吸器官とそのはたらき・血液の成分					
		3章　感覚と運動のしくみ	骨格と筋肉・感覚器官，刺激と反応	34				
	6	4章　動物のなかま	動物の分類					
		5章　生物の移り変わりと進化	生物の変遷と変化		○	8	9	15
	7	ガイダンス（地学分野）		2				
		1章　空気中の水の変化	空気中の水蒸気					
2	8		雲・霧の発生と水の循環					
	9	2章　天気の変化と大気の動き	大気のはたらき	34	○	10	11	12
		3章 大気の動きと日本の四季	前線と天気の変化					
	10		大気の動きと日本の天気					
		ガイダンス（化学分野）		2				
	11	1章　物質の成り立ち	物質の分解					
		2章　物質を表す記号	原子と分子・化学式					
	12	3章　さまざまな化学変化	物質が結びつく変化，化学変化のしくみと化学反応式	34	○	12	14	15
		4章　化学変化と物質の質量	酸化と還元・化学変化と熱					
3	1		化学変化と物質の質量					
		ガイダンス（物理分野）		2				
	2	1章　電流の性質	回路と電流・電圧,電流と電圧の関係・オームの法則					
		2章　電流の正体	回路とオームの法則・合成抵抗,電気とそのエネルギー	34				
	3	3章　電流と磁界	電流と磁界,電磁誘導,静電気と電流		○	8	9	14
		まとめ	問題演習（2年生のまとめ）	10				

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
外国語	英語	6	中学2年	必修

科目の目標	英語を通じて言語や文化に対する理解を深め、オンラインスピーキングトレーニング・探究スキルラーニングを併用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度の向上促進を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の習得と定着を目指す。 中学生レベルの基礎～発展的な英語を読んだり聞いたりして、書き手や話し手の意向を理解できるようにする。また中学生レベルの基礎～発展的な英語を用いて自分の考えなどを書いたり、話したりすることができるようにする。			
学習内容の概要	上記の目標を達成するために、Online Speaking Training・図書・プレゼンテーションなどのさまざま活動を通して聞く、読む、話す、書くの全てにおいて、バランスよく学習し、能力向上を目指す。本学年次在籍中に英検3級取得を目指す。			
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力（話すこと・読むこと・書くこと）	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
	間違うことを恐れずに積極的に、各種活動へと取り組んでいるか。実践的な対話場面で流暢に発話・応答できるか。	当該レッスンにおける文法事項を含む文を正しく話したり音読したり、書いたりできるか。得た知識を探究スキルラーニングの成果物に応用できているか。	当該レッスンにおける文法事項を含むぶんを正しく聞き取ったり読み取ったりできるか。	当該レッスンにおける文法事項や扱われた語句・表現、発音・強勢・イントネーションについての知識があるか、非母語話者だけではない多様な英語に対し理解しようとする意欲があるか。
評価の方法	探究スキルラーニングでのプロセス・成果など 提出物 全活動における意欲と態度 40%		単元末テスト（原則再テストなし） 60%	
教科書・教材等	New Crown Ⅱ（三省堂）、New Treasure English Series Stage1 Second Edition、New Treasure English Series Stage1 Second Edition 文法問題集、New Treasure English Series Stage2 Second Edition、New Treasure English Series Stage2 Second Edition 文法問題集（以上、Z会）			
授業形態	習熟度別			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	オリエンテーション	評価等の説明	2				
		New Treasure 1 Lesson 11	未来を表す表現	20				
	5		探究スキルラーニング① ハンバーガーライティングを使ってみよう	5	○	8		
		New Treasure 1 Lesson 12	いろいろな助動詞	20				
	6	New Treasure 1 Lesson 13	There is(are)～の文	19				
	7		英語発音特別講座 ELIZA ENGLISH SCHOOL主宰前田一枝先生来校予定	1				
			探究スキルラーニング② 日常の様子をスキットで表現しよう	6	○	12	14	16
2	8	New Treasure 1 Lesson 14	比較	19				
	9	New Treasure 2 Lesson 1	助動詞表現、文の構造1	19				
			探究スキルラーニング③　多読ポスターを作成しよう 教科横断での展開を予定	8	○	14		
	10	Online Speaking Training	オンラインスピーキングトレーニング受講 (計8回/10月～12月までを予定)	10				
		New Treasure 2 Lesson 2	不定詞	19				
	11		探究スキルラーニング④ ハンバーガーライティングを使いこなしてみよう	5	○	8		
		New Treasure 2 Lesson 3	副詞節を導く接続詞	19				
	12		和食をつくってクッキングチュートリアル動画を作成しよう					
3	1	New Treasure 2 Lesson 4	名詞節を導く接続詞、文の構造2	16				
			探究スキルラーニング⑤　日本文化の紹介動画を作成しよう	7	○	8	14	16
	2	New Treasure 2 Lesson 5	動名詞	16				
			探究スキルラーニング⑥ 英文法の謎についてレポートにまとめてみよう	6	○	3	15	17
	3		中3英語の準備講座 リフレッシュコース・グローバルコース	10				

教科名	科目名	時間数う	対象学年	履修形態
総合的な学習の時間	探究基礎Ⅱ	2	中学2年	必修

科目の目標	デザイン思考を活用し，企業が抱える課題を創造的に解決できる資質を身に付ける。
学習内容の概要	デザイン思考を使って創造的に課題解決を行います。夏から始まる職場体験においてフィールドワークによって企業の課題を発見します。発見した課題を解決するためのワクワクする提案をしてください。そしてその方法をチームのみんなで力を合わせ実現させてください。実際に企業に提案し，評価してもらいます。職場体験実施までの期間はデザイン思考の使い方や，校内でプレ課題解決を実施しデザイン思考を使う練習を行います。
評価の観点	・デザイン思考を活用できたか。 ・チームで協力して課題解決できたか。 ・データに基づいた根拠ある課題設定や，データに基づいたテスト（検証）ができたか。 ・解決策をプロトタイプとして形にできたか。 ・解決策の提案に対して共感を得ることができたか。 ・設定した課題は解決されたか。
評価の方法	成果物　　発表
教科書・教材等	学びの技
授業形態	一斉

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ		
1	4	オリエンテーション	全体スケジュール，デザイン思考について					
			ポートフォリオについて，アントレプレナーシップとは	6				
	5	【共感】・【問題提起】	校内のデータ収集，データをもとに課題設定	10		6	7	
	6	【創造】	課題解決策を提案	4		8		
		【プロトタイプ作成】・【テスト】	課題解決策の実行，データ収集，分析	6		9	12	
	7	【フィードバック】発表	校内発表	2		14	15	16
		プログラムCamp		8		13	14	
2	8	【共感】	フィールドワーク（職場体験，行動観察等）	4				
	9			4		6	7	
		【問題提起】	企業の課題は何か？	4		1		
	10	【創造】	課題の解決策は？	4	○	2		
		【プロトタイプ作成】	解決策を形にしよう！	4		12	13	
	11			4				
		【テスト】	解決策を実践してみて変化を調べよう！	4		3	4	5
	12	【フィードバック】	各社へ中間報告しよう	4		14	15	16
		校内中間発表	各社ごとに成果共有	4				
3	1	修正	中間発表を経て，不足していた部分を修正	4				
			必要があればデータを改めて収集	4				
	2	発表準備	ポスター作成・発表練習	4		14	15	
		青開学会		4		16		
	3	まとめ	各社へお礼状作成・郵送	6				

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
音楽	音楽	1	中学2年	必修

科目の目標	リズムや旋律・ハーモニーなど、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や良さを感じ取って、生き生きと表現活動を行うこと。			
学習内容の概要	一人ひとりの音楽に対する関心の違いや知識の差を個性と認めつつ、様々な時代の音楽の様式に触れながら、その楽曲を形づくっている諸要素や良さを感受し、関心や意欲を高め、表現の工夫を深める。			
評価の観点	関心・意欲・態度	音楽的な表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	音楽への興味関心が積極的に取り組む態度となっており、グループで協力し合い、協調性を持って取り組む姿勢を持っている。	曲の持っている良さや特質に関心を持ち、イメージを生かして表現し、曲想に相応しい表現を工夫し、演奏に生かしている。	歌唱に於いて発声や言葉の意味を理解し表現している。器楽に於いては演奏技術の習得や音色の工夫に励んでいる。	曲の持っている情景や心情を感じ、味わいながら聴き、作曲の背景や作品を構成する諸要素の理解を深めている。
評価の方法	筆記テスト点 50%　　実技テスト点 30%　　平常点 20%			
教科書・教材等	中学生の音楽2・3上（教育芸術社）、中学生の器楽（教育芸術社）、アルトリコーダー			
授業形態	一斉			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	交響曲第5番ハ短調「運命」	曲の構成に注目し、曲想の変化を味わいながら鑑賞する。	2		
	5	「フーガト短調」	旋律の重なり合いに注目しながら鑑賞する。	2		
		オペラ「アイーダ」から	オペラに親しみ、特徴を感じながら鑑賞する。	2		
	6	確認しよう	記号・音楽用語の読み方と意味を確認する。	2		
		リズム ゲーム	リズムを作り、拍に合わせてリズムをたたく。	2		
	7	指揮をしてみよう	指揮をする時のポイントを理解する。	1		
2	8	「翼をください」	曲想を感じ取り、パートの役割を理解する。 発声や発音に気をつけ美しいハーモニーで歌う。	4		
	9					
		「カノン1」	リコーダーの運指を確認する。 リズムやテンポに気をつけて輪奏する。	4		
	10					
		「Kum Ba Yah」	アカペラによる響きを感じながら合唱する。	2		
	11	「クラッピング　ラプソディ」第1番	リズムの変化を感じ取って演奏する。	3		
	12	My Melody	和音の音を使って旋律を作る。	2		
3	1	日本の伝統音楽	歌舞伎「勧進帳」を鑑賞し、その特徴を理解する。 文楽「新版歌祭文」を鑑賞し、その良さを味わう。	3		
	2	音楽の基礎知識2	記号・音楽用語の読み方と意味を理解する。	3		
	3	「天使にラブソングを1」	ミュージカルの構成と良さを感じ取る。	2		

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
美術	美術	1	中学2年	必修

科目の目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。			
学習内容の概要	表現･美術を愛好する心情を培う。心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 ･対象を見つめ感じとる力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や、形や色彩などによる表現の技術を身につけ、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 鑑賞･自然の造形や美術作品などについての基本的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞能力を高める			
評価の観点	関心･意欲･態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい美術を愛好していこうとする。	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。	感性や造形感覚などを働かせて,表現の技能を身に付け, 意図に応じて表現方法などを 創意工夫し創造的に表している。	美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさなどを感じ取り味わったり、理解したりする。
評価の方法	テスト（鑑賞含む） 35%	発想･構想 25%	技能 25%	授業態度 15%
教科書･教材等	美術（日本文教出版）、スケッチブック			
授業形態	一斉			

年間学習計画

学期	月	題材	学習内容	時数	探究	タグ
1	4 5 6 7	ガイダンス 創作文字	･レタリングを基に創作文字を表現する。	15	○	
2	8 9 10 11 12	遠近法	･一点透視図法、二点透視図法を学び、それらを活用した作品を制作する。	14		
3	1 2 3	人物を描く はりこお面		10	○	

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
保健体育	保健体育	3	中学2年	必修

科目の目標	①各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。 ②運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ③生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学習内容の概要	単元ごとの目標を明確にし，必要に応じて情報提供をおこなったり，自らインターネットや本で情報を集めたりするなど，健康に対する意識を高められるような授業展開をする。 内容は，運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は，「体つくり運動」，「器械運動」，「陸上競技」，「球技」，「武道」及び「ダンス」であり，知識に関する領域は，「体育理論」である。			
評価の観点	学びに向かう力・人間性	思考・判断・表現	技能	知識
	自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする。 公正・協力・責任・参画などの社会的態度が身に付いているか。	自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己(や仲間)の考えたことを他者に伝えることができる。	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。	運動の特性と学び方、安全の確保の仕方、運動の心身にわたる効果に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	30 %	10 %	40 %	20 %
教科書・教材等	ステップアップ中学体育（大修館書店）、保健体育（大修館書店）			
授業形態	2クラス合同、男女別			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	体つくり運動	・集団・整列 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動・体力テスト	8		
		陸上	(長距離走)リラックスした走り、自分にあったピッチとストライドを見つける。			
	5			12		
		球技(バドミントン) 体育理論	・ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習 ・ゲーム			
	6			10		
		球技(サッカー)	・パス練習 ・シュート練習 ・試合			
	7			10		
	8					
2	9	球技(バレーボール)	・対人パス、サーブ ・ゲームのルールを理解する。 ・ゲーム	10		
	10	球技(ソフトボール)	・打撃、捕球、送球などの用具操作 ・走者と連携した打撃による攻撃とその守備の理解 ・ゲーム	10		
	11	体育理論 球技(ハンドボール)	・パス、シュート、ドリブル等の基礎練習 ・ゲームのルールを理解する。 ・ゲーム	8		
	12	武道(空手)	・基本形 ・約束組手	8		
3	1	器械運動 卓球	(マット運動)グループで教え合い、技の練習 (卓球) ・ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習 ・ゲーム	14		
	2					
	3	ダンス 保健	(現代的なリズムのダンス) グループで曲を選択し、オリジナル練習をして発表。	15		

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
保健体育	保健体育	3	中学2年	必修

科目の目標	①各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。 ②運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ③生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学習内容の概要	単元ごとの目標を明確にし，必要に応じて情報提供をおこなったり，自らインターネットや本で情報を集めたりするなど，健康に対する意識を高められるような授業展開をする。 内容は，運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は，「体つくり運動」，「器械運動」，「陸上競技」，「球技」，「武道」及び「ダンス」であり，知識に関する領域は，「体育理論」である。			
評価の観点	学びに向かう力・人間性	思考・判断・表現	技能	知識
	自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする。 公正・協力・責任・参画などの社会的態度が身に付いているか。	自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己(や仲間)の考えたことを他者に伝えることができる。	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。	運動の特性と学び方、安全の確保の仕方、運動の心身にわたる効果に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	30 %	10 %	40 %	20 %
教科書・教材等				
授業形態	2クラス合同、男女別			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	体つくり運動	・集団・整列　・体ほぐしの運動・体力を高める運動 ・体力テスト	8		
		体育理論 球技(ハンドボール)	・パス、シュート、ドリブル等の基礎練習 ・ゲームのルールを理解する。 ・ゲーム			
	5			12		
		陸上	(長距離走)リラックスした走り、自分にあったピッチとストライドを見つける。			
	6			10		
		球技(バレーボール)	・対人パス、サーブ ・ゲームのルールを理解する。 ・ゲーム			
	7			10		
	8					
2	9	球技(ソフトボール)	・打撃、捕球、送球などの用具操作 ・走者と連携した打撃による攻撃とその守備の理解 ・ゲーム	10		
	10	球技(バスケットボール) 体育理論	・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことからゲーム展開 ・自分のシュートフォームをiPadで撮影して改善点を見つける。	10		
	11	球技(バドミントン) 体育理論	・ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習 ・ゲーム	8		
	12	武道(空手)	・基本形 ・約束組手	8		
		ダンス 保健	(現代的なリズムのダンス) グループで曲を選択し、オリジナル練習をして発表。 (保健) 健康と環境	14		
3	1					
	2					
		器械運動 卓球	(マット運動)グループで教え合い、技の練習。 (卓球) ・ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習 ・ゲーム	15		
	3					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
技術・家庭	技術	1	中学2年	必修

科目の目標	木製品の製作を通して，企画・設計・製作・批評する力を育成する。 工夫して創造することの大切さを感じ，技術的なものの見方・考え方を身につける。			
学習内容の概要	「〇〇に必要な椅子」をテーマに椅子の企画から設計，製作を行う。 全工程にデザイン思考を導入し，課題解決型の木工製作を行う。 関係者に向けた作品発表会をもち，外部評価を受け，さらに他者の製作物への批評を行う。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解
	情報に関する技術の課題をすすんで見つけ，社会・環境・経済などさまざまな側面から比較・検討しようとしている。	情報に関する技術を利用場面に応じて適切に評価し活用している。	目的や条件に応じて，適切な手段を選択し，表現や発信ができる。	情報に関する技術と，社会や環境との関わりについて理解している。
評価の方法	ポートフォリオ　　成果物　　発表			
教科書・教材等	技術・家庭（技術領域）（開隆堂）			
授業形態	一斉			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	グループワーク（デザイン思考） ディスカッション（企画） 世界の椅子についての講演会	「〇〇に必要な椅子」というテーマのもと，グループワークを通して，さまざまな椅子のデザインについて思考・発想を拡げ，各自が調査した情報をもとにディスカッションを行う。	7		
	5					
	6	「用・強・美」ブレインストーミング （設計） 設計図作成（材料・接合方法） 製作模型（加工方法）	ブレインストーミングで，その空間に最適な椅子のデザインを検討し，設計図の作成を行う。機能・素材・加工方法・接合方法を検討しながら設計を行う。	6		
	7					
2	8					
	9	プロトタイプ製作（木材加工）	中間発表を木工メーカーの製作担当者に対して行う。プロから直接アドバイスを受けることでプロトタイプの修正の手がかりを見つける。	4		
	10	「〇〇に必要な椅子」製作	材料取り，部品加工，組み立て，仕上げの各工程をチームで協働しながら進めていく。	14		
	11					
	12					
3	1					
	2					
	3	最終発表	企業，大学，行政から外部講評者に向けて，製作発表会を実施する。外部からの講評を得ることで，作品を客観的に評価する。	3		

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
技術・家庭	家庭	1	中学2年	必修

科目の目標	実践的、体験的な活動を通して、生活をより良くしようとする主体的な態度を育てる。			
学習内容の概要	自分の食生活に関心を持ち健康的な食習慣を考える。中学生に必要な栄養の特徴を学習し、日常食の調理を行う。地域の食材や食文化についても理解する。 消費生活について権利と責任の理解、また環境に配慮した消費生活を工夫できるようにする。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	授業の準備、態度、忘れ物の有無、ノート整理、課題提出物の状況、自主的な発表	作品への工夫	工具、用具の正しい使い方、作品完成度	授業中の応答、定期考査
評価の方法	授業態度・実技　60%　テスト　40%			
教科書・教材等	「技術・家庭　家庭分野」 開隆堂出版			
授業形態	一斉			

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	食生活 健康と食生活	食事の役割について考える	2		
	5		中学生に必要な栄養	2		
			食品と栄養	4		
	6					
	7		食事の計画	4		
2	8					
	9	調理をしよう	調理の基本	8		
			肉の調理			
	10		魚の調理			
			野菜の調理			
	11	食品の選択と保存	生鮮食品と加工食品	2		
	12	食品の表示	食品の表示	2		
			食品の選択・購入・保存	3		
3	1	地域の食材と食文化	郷土料理・受け継がれる食文化	2		
	2	身近な消費生活と環境 家庭生活と消費	消費生活のしくみ	2		
	3	商品の選択と購入	生活情報の活用（表示とマーク）	2		
			購入方法と支払方法	2		

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
道徳	道徳	1	中学2年	必修

科目の目標	道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度なと゛の道徳性を養成すること。特に、道徳的価値、およびそれに基つ゛いた人間としての生き方についての自覚を深化させることで、道徳的実践力を育成すること。		
学習内容の概要	①主として自分自身に関すること、②主として他の人とのかかわりに関すること、③主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること、④主として集団や社会とのかかわりに関することについて、様々な視点・手法でアプローチする。特に中学2年次は「Diversity & Inclusion」の第Ⅱ期として、現代的な多様性を中心に学習する。		
評価の観点			
評価の方法	数値等による評価はしない。		
教科書・教材等	新しい道徳　中学校		
授業形態	一斉		

年間学習計画

学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	Social Skill Training Ⅱ	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	2	○	
	5	Diversity & Inclusion Ⅱ	発達障害について理解を深める。合理的配慮によって困難を解消できる可能性があること、それは発達障害のある人のためのみならずすべての人のためになることを確認する。	4		
	6		内部障害について理解を深める。また、ヘルプマークの普及啓発に取り組む。	4		
	7	Social Skill Training Ⅱ	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	7		
2	8					
	9	Diversity & Inclusion Ⅱ	子どもの権利条約について学習する。自分たち一人ひとりが人権をもっていることを確認する。	2		
	10		男女共同参画社会について学習する。声をあげる、連帯する、といった社会を変革する力に気づく。	4		
	11		多様な性について理解を深める。自己のアイデンティティを深化させるとともに、一つの要素はその人の一側面でしかないことを確認する。	4		
	12	Social Skill Training Ⅱ	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	4		
3	1	Diversity & Inclusion Ⅱ	外国にルーツをもつ人について理解を深める。また、日本の外国人政策について議論する。	4		
	2					
	3	Social Skill Training Ⅱ	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	4		